



さくらんぼだより



11月号

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリーこども園

令和7年11月4日

親子のふれ合いを大切に！
親子で絵本を楽しもう！！

日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩はめっきり冷え込むようになりました。こども園は、秋もだんだんと深まり“キンモクセイ”のいい香りに包まれています。

10月4日に行われた“のはらまつり”では、天気にも恵まれ、平和の象徴である凧もクラスごとの連凧になって綺麗に揚がり、笑顔溢れる時間を過ごすことができました。テーマ「つながる」のもと、親子のつながりや保護者同士のつながりを感じ合えたこと、そして子どもたちの成長を共に感じ合うことができたまつりとなりましたのも、実行委員の皆様を中心として、保護者の方々のご協力のお陰だと感謝しております。本当にありがとうございました。

先月、ようやく子どもたちが楽しみにしていたリンゴを食べました。昨年に続き、今年も“ふじ”が多く採れましたが、風で落ちたり、鳥に食べられてしまったりして、当初より数は少なくなっていました。でも、ちょっとずつでもチェリーのリンゴを味わってほしいと、小さく切って各クラスに届けると「リンゴだ！やっ」と食べられるね！」と大喜びの子どもたち。そして、一つずつ手に取り食べてみると「噛むと口の中が甘くなる！おいしい！」「シャリシャリしていて最高！」と満面の笑みで、旬の味を楽しむことができた子どもたちでした。

11月1日(土)は、『おはなしの広場まつり・バザー』を行いました。0歳～5歳までの乳幼児期にこそ、絵本を通した親子のふれ合い、絵本の読み聞かせの時間を大切にしてほしいという願いを込めて、開園から続けてきたこのまつりも、25回目を迎えることができました。今年も、保護者の実行委員の方々のご協力のもとに準備が進められ当日を迎えられましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。また、卒園児のお母さんが「子どもたちに一冊でも多く絵本を買ってあげられるように」と、バザーの手作り品を作って届けに来てくださいました。卒園して何年経ってもそんなふうに思ってくださる気持ちが本当に嬉しかったです。そして、保護者の方々からも素敵な手作り品をたくさん提供していただけたこと、心から感謝いたします。『おはなしの広場まつり』を通して、これからも子どもたちがおはなしの世界を楽しみ、今以上に絵本が大好きになってくれることを願っています。

2025. 11. 4 園長 佐藤 真里枝

お知らせ

<総合避難訓練>

先月予定していました総合避難訓練は、太白消防署の都合により、11月7日(金)に変更となりました。当日は、はしご消防車も来てくれる予定となっています。

<歯科健診>

11月13日(木)午前9時30分より、園医の川俣先生による歯科健診があります。当日止むを得ずお休みになった場合は、後日、保護者の方に川俣歯科医院の方へ直接行って頂くようになりますので、なるべく欠席をしないようにお願いします。

<感染症予防について>

おねがい

これから寒くなってくる時期は、インフルエンザの流行時期でもあります。先月の内科健診の時に、園医の松本先生より今年もコロナウイルスやインフルエンザの罹患者はすでにいること、インフルエンザはA型が出ていると教えていただきました。早めの受診や、基本的な予防(手洗い、うがい、換気など)を心がけていきましょう。

行事予定

11月

1	土	おはなしの広場まつり
7	金	総合訓練
13	木	歯科健診(9:30~)
14	金	発育測定
18	火	誕生会
19	水	焼いも会
21	金	おはなしの広場まつり 実行委員反省会

12月

5	金	発育測定
10	水	発表会総練習(祖父母)
13	土	発表会
16	火	誕生会
18	木	もちつき会
19	金	避難訓練
27	土	御用納め



先月、お昼寝前に、3歳児クラスがらがらどん組で絵本を読んでいた時の事です。「どのおはなしにしようかな～」と文庫の絵本を眺めていると、Sくんが「これ読んで！この絵本好き！」と教えてくれました。Sくんが手にしていたのは、“せなけいこ・おばけえほん”でした。この絵本は、全15冊のシリーズがあり、子どもたちに人気の絵本です。早速Sくんお気に入りの「おばけえほん」をクラスで読んでみると、おばけの様子に笑ったり、ドキドキしたり、ハラハラしたりと、どの子どももおはなしの世界を楽しんでいました。そして翌日からは、SくんだけでなくHちゃんも「これ読んで！」と、おばけえほんのシリーズを届けてくれるようになり、毎日子どもたちのリクエストに応じて読ませてもらいました。そんな子どもたちの姿から、おはなしの世界を楽しみ、絵本が大好きな子どもたちに育っていることが感じられて、嬉しかったです。

定期購読している季刊誌の中で、“おはなしおばさん”で知られる、語り部の藤田浩子さんの対談が掲載されていました。その中で藤田さんは、『人は人に育てられて人になる』とおっしゃられ、おはなしと心の育ちには深い関連があると話されています。それは、機械的ではなく子どもの表情を見ながら子どもの気持ちに合わせておはなしを語ることで信頼関係が生まれること、「生の声」が大事であること、そして、おはなしは見えないけれど、楽しかったり、不思議だったり、怖かったりする「目には見えない物(愛情、優しさ、信頼、悲しみなど)」を心にいっぱいためておくと、心が豊かになって、困難にぶつかっても立ち向かえる力も育まれるだろうと話されていました。藤田さんのお話は、絵本を通して、子どもたちの心が豊かになってほしいと願って、チェリー文庫を始められた初代園長の想いと重なると思わせていただきました。ぜひ、チェリー文庫を活用して“絵本のある子育て”を楽しんでください！



母と子の絵本棚

「おいもをどうぞ！」 出版社 ひかりのくに
さく 柴野 民三 え いもと ようこ
くまさんの畑で採れた芋をお隣さんに分けてあげるお話です。少しずつおすそ分けしていき、気付くと芋がくまさんの所へ！巡り巡って戻ってきた、優しさたっぷりの芋に心がほっこりします。



「もりいちばんのおともだち」 出版社 福音館書店
さく・え ふくざわ ゆみ
小さいものが好きなクマさんと、大きいものが好きなヤマネくん。二人は出会って仲良しに。好きな物はそれぞれですが、お互いを認め合い、思いやる優しさも伝わってくるお話です。ぜひ、読んでみてください。



わらべうたであそぼう

♪とのさま おちゃくぎ♪



トノサマオチャクザ、	額に手のひらをあてる
フタリノ ゴケライ、	人さし指で右、左の目をさす
オンドリ、メンドリ、	人さし指で右、左のほほをつく
イソイデゴニューライ	いいながら子どもの口の前で
チン、チョッ、パー、	2本指を忙しく動かす
チン、チョッ、パー、	げんこを子のあごにあて、
チン、チョッ、パー、チン。ようにする。	ごとに叩くか、左右にしごく

版画

「のはらうた」 くどう なおこ作

